

○ きめ細やかな現場の点検活動を地道に実施

(熊本県山都町農業委員会 門岡和美委員)

1. 農業委員会の概要

- 農業委員：19名(うち女性3名)
- 農地利用最適化推進委員：28名(うち女性0名)

2. 取り組みのきっかけ

- 「九州のへそ」に位置する山都町は、中山間地であるため遊休農地の増加など、農地の利用率低下などが懸念される。
- 遊休農地の発生防止には、早期発見が欠かせず、高低差が著しい山間地の農地の利用状況を把握するためには、現場に足を運ぶ必要がある。
- 委員は、管内の農地の利用状況や農業者の実情を把握することが委員活動の第一歩と捉え、現場の点検・相談活動を強化することとした。

3. 具体的な取り組みの内容

- 先祖から脈々と受け継がれてきた地域資源である農地を次世代に引き継ぐことを活動理念に、現場を知らなければ満足な委員活動はできないとの認識の下、地域農業者との“絆”を大切に、自主的かつ地道に次の取り組みを基本に委員活動を実施中(現在3期目)。
- 年間活動日数は147日を数え、農地の貸し借りなどの相談があった時点で、即座にその相手方が頭に浮かぶなど、今や管内の「人と農地」を熟知するまでになり、地域農業の“何でも相談係”として頼りにされている。
- 頻繁に担当地域の農地利用の状況を点検し、遊休農地の未然防止等に努めている。
- 高齢農家、新規就農(含む参入)者を含めた担い手を巡回し、訪問先に必要な情報の提供を行うとともに、経営や生活に関する様々相談対応にあたっている。



阿蘇山麓のまち

山都町

YAMATO-CHO KUMAMOTO/JPN



新規就農者などの担い手を精力的に巡回する門岡和美委員